

# 日本バレーボール学会

# 2015バレーボールミーティング

「地域から日本のバレーボールを変える～オガールベースの挑戦～」



**会期：2015年8月8日（土）**

**会場：紫波町情報交流館・オガールベース**

主催：日本バレーボール学会

後援：岩手県バレーボール協会、紫波町

協力：一関工業高等専門学校教育研究振興会



15  
Hideoki ETO

6  
Shohei YAMAMOTO

10  
Yuya YAMAOKA



# FCTOKYO VOLLEYBALL TEAM



公式ホームページアドレス ▶▶▶

<http://www.fctokyo.co.jp/volleyball>



チーム情報はここから

◀公式ケータイサイトへアクセス



@fctokyo\_volley



[www.facebook.com/fctokyovolley](http://www.facebook.com/fctokyovolley)

## 【目次】

参加者の皆様へのお知らせ	2
主催者挨拶	4
名誉研究集会会長挨拶	5
学会役員・実行委員会	6
会場案内図	7
日 程	8
講師紹介	9
講演 ①	10
講演 ②	12
シンポジウム	14
オンコートレクチャー	15
MEMO	17
広告協賛企業・団体一覧	18

## 【参加者の皆様へのお知らせ】

### 1) 参加申込み方法

以下の方法でお申込み下さい。当日の受付混雑緩和のため、事前申込みにご協力ください。

- 事前申込みの方…2015年8月1日(土)までに申込み登録フォーム<https://goo.gl/IS4sJQ>に直接アクセスし(学会HPに登録フォームのリンクあり)、必要事項を入力して送信してください。  
また参加費も2015年8月1日(土)までに下記の口座にお振込ください。

振込先金融機関：楽天銀行

支店および番号：マーチ支店(店番号：211) 口座番号：4604960

口座名義：高野淳司(タカノアツシ)

- 当日申込みの方…申込み登録フォームは使用せず、当日、受付にて手続きを完了してください。

### 2) 参加費

カテゴリー	参加費(事前登録)	参加費(当日登録)
会 員 (一般)	1,000円	1,500円
会 員 (学生)	無 料	無 料
非 会 員 (一般)	1,500円	2,000円
非 会 員 (学生)	500円	500円

※学生は受付時学生証を提示、高校生以下は無料

※小、中、高校生を引率される指導者の方は事前に2015バレーボールミーティング実行委員会事務局へ御連絡ください。別途対応させていただきます(参加費無料)。

### 3) 受 付

ミーティング参加費の支払い(除：事前登録者)ネームホルダーおよび領収書の受取を行ってください。ネームホルダー内のカードには、所属と氏名をご記入いただき、会場内において必ず着用してください。

### 4) 年会費未払い

日本バレーボール学会員の方で、年会費を未払いの方は、年会費をお支払いください。  
領収書は、後日郵送致します。

### 5) 会 場

講演・シンポジウムはオガールプラザ2階、紫波町情報交流館 大スタジオ。オンコートレクチャーはオガールベース内、オガールアリーナで行われます。

オンコートレクチャー会場のオガールアリーナは土足厳禁です。室内用シューズ、スリッパ等のご持参をお願いいたします。

本ミーティング開催中における講演内容等に関するリアルタイム配信(ツイッター等)についてはご遠慮ください。なお、ビデオ撮影を希望される方は、事務局までお申し出ください。

## 6) 飲食について

会場内への食べ物の持ち込みは禁止です。

なお、会場内にはキャップ付きの飲み物のみ持ち込み可です。

## 7) タバコ

会場では喫煙場所が指定されております。必ず指定された場所をご利用ください。

## 8) 情報交換会のご案内

16:30より「シュガーズカフェ紫波店」(オガールプラザ東棟1F)において講師を交えての情報交換会を開催いたします。会費は会員・非会員ともに4,000円です。参加希望の方は2015年8月1日(土)までに参加費と併せてご入金ください。当日参加も可能ですが、準備の都合上、極力事前のお手続きをお願いいたします。当日参加の方は、受付にて手続きを完了させてください。

## 【 主催者挨拶 】

### 2015バレーボールミーティング開催にあたって

日本バレーボール学会 会長 河 合 学 (静岡大学)



2015年の日本バレーボール学会ミーティングが、日本初のバレーボール専用体育館：オガールアリーナを有する、ここ岩手県紫波町のオガールベースで開催されますことは、日本バレーボール学会会長としてこの上ない光栄の極みであり、開催に向けて尽力を頂いた関係各位には心より厚く御礼申し上げます。

紫波町は、少子高齢化や補助金削減の厳しい状況の中で従来型の公共事業に頼らず公民連携で地域活性化を進めることに成功し、全国から注目を集めています。それは「オガールプロジェクト」と呼ばれる事業で、駅前にホテルや体育館、図書館、カフェ、産直マルシェなどが入居する施設を相次いでオープンさせ、人口3万数千人の町に年間80万人が訪れる活気ある地域になったと聞いています。オガールベースの中核は、なんと言っても日本初となるバレーボール専用体育館「オガールアリーナ」です。オリンピックやワールドカップなどの世界的な大会で採用されている床材を用いたトレーニング施設で、オープン以来、Vリーグ、ユースの合宿、中学選抜の合宿など引きも切らずに使用されている上に、最近では2020東京オリンピック組織委員会からナショナルチームの直前合宿としての問い合わせがあったそうです。体育館をバレーボール専用にするにより、小さい需要ながら特化した集客力を得るというマーケティングが功を奏した良い見本でしょう。

このような素晴らしい環境のもとで開催されます今年のバレーボールミーティングは、オガールプロジェクトの一翼を担っています岡崎正信氏と綱嶋久子氏に、まさにここオガールで展開されているプロジェクトを紹介していただくとともに、「地域から日本のバレーボールを変える」というテーマで講演していただきます。地方創成におけるスポーツの可能性、役割、あるいは課題を参加者とともに考え、日本全国の活性化、スポーツの振興、そしてバレーボールの普及発展を一緒に考える時間にしていただけたらと思います。

最後に、改めて本ミーティングの計画、準備から会場設営までお力添えくださいました関係各位に感謝するとともに、本会がバレーボール関係者にとりまして有意義なものになりますことを願っています。

最後に、改めて本ミーティングの計画、準備から会場設営までお力添えくださいました関係各位に感謝するとともに、本会がバレーボール関係者にとりまして有意義なものになりますことを願っています。

## 【 名誉研究集会会長挨拶 】

### ご 挨 拶

岩手県バレーボール協会 会長 小笠原 義 文 (岩手大学 名誉教授)



立秋の候、日本バレーボール学会会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

「2015バレーボールミーティング」が、会員はじめ関係者が相集い「地域から日本のバレーボールを変える～オガールベースの挑戦～」をテーマに、岩手県紫波町情報交流館およびオガールベースにおいて盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

貴学会は、大学バレーボール関係者が中心となりバレーボール学の構築を目指して、研究会を立ち上げ、組織を日本バレーボール学会へ名称変更してさらなる充実を図り、研究活動に努められていることに対して衷心より敬意を表する次第です。バレーボールの技術、戦術のみならず体力、施設・用具、ルールおよび用語解説等にまで幅広い研究成果が収められ、公表されて創造的な科学的見識の集積である

ことが周知されています。今後もトップチームの強化対策や指導現場の合理化に役立ち、日本バレーボール界の普及発展に寄与されることを期待しています。

人口約3万4千人の紫波町オガールエリア内にある民間複合施設オガールベースは、昨年8月竣工し、オガールプラザや県フットボールセンター等との相乗効果で交流人口増加が期待されています。公共施設および宿泊施設を含め多くのテナントも入居し、この地域周辺の賑わいの創出や物販機能が增强されて地域経済の発展が見込まれており、もたらず効果影響は多大なものがあります。また、女子バレーボールの元全日本代表選手がコーチを務めるバレーボールアカデミーの活動拠点となる、国内初のバレーボール専用アリーナも設けられました。発掘・育成を高いレベルで進めて、バレーボールを通じた人間育成の可能性を働きかけることで期待が膨らみます。今年1月早々には、NHKテレビ番組「クローズアップ現代」において、先進的な取り組みで地域創成に貢献する施設の構成が他の地域の参考になり、注目されていることが紹介されました。バレーボール競技の強化向上そして地域の活性化を願い、紫波町役場との折衝から、企画・立案に携わって計画の実現を叶えた、オガールベース株式会社岡崎正信社長の限りなく進化させる挑戦が全国に発信されることを願っています。

冬季大会も合わせて岩手県初の「完全国体」は、平成28年に開催されます。スポーツを通じて感動を広げ、全国からいただいた東日本大震災復興支援に対する感謝を伝えたいことから「広げよう感動。伝えよう 感謝。」をスローガンにしています。岩手県バレーボール協会は、来年に迫った「いわて国体」において目標の全種別ベスト8以上を達成出来るよう鋭意努力していますが、オガールベース施設を有効に活用しながらさらなる強化対策を図りたいと考えています。

終わりに、本ミーティングの開催に当たり諸準備にご支援、ご協力いただきました関係各位に感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

## 【 学会役員・実行委員会 】

### 日本バレーボール学会役員 (2015-2017年度)

(50音順)

名誉会長：遠藤 俊郎 (大東文化大学)  
 特別顧問：朽堀 申二 矢島 忠明  
 顧問：明石 正和 川合 武司 清川 勝行 島津 大宣 高橋 和之  
           原田 智 森田 昭子  
 会長：河合 学 (静岡大学)  
 副会長：黒川 貞生 (明治学院大学) 古澤 久雄 (かのやスポーツ研究所)  
 理事長：石手 靖 (慶應義塾大学)  
 監事：柏森 康雄 (大阪体育大学) 廣 紀江 (学習院大学)  
 理事：板倉 尚子 (日本女子体育大学) 内田 和寿 (京都ノートルダム女子大学)  
           小川 宏 (福島大学) 金子美由紀 (名城大学)  
           川田 公仁 (つくば国際大学) 黒後 洋 (宇都宮大学)  
           小林 海 (目白大学) 篠村 朋樹 (木更津工業高等専門学校)  
           杉山 仁志 (武蔵丘短期大学) 高根 信吾 (常葉大学)  
           高野 淳司 (一関工業高等専門学校) 高橋 宏文 (東京学芸大学)  
           田中 博史 (大東文化大学) 鳥羽 賢二 (びわこ成蹊スポーツ大学)  
           中西 康巳 (筑波大学) 布村 忠弘 (富山大学)  
           橋本 吉登 (三ツ境整形外科) 濱田 幸二 (鹿屋体育大学)  
           廣 美里 (名古屋学院大学) 松井 泰二 (早稲田大学)  
           安田 貢 (札幌大学) 湯澤 芳貴 (日本女子体育大学)  
           横矢 勇一 (大東文化大学) 吉田 清司 (専修大学)

### 2015バレーボールミーティング役員

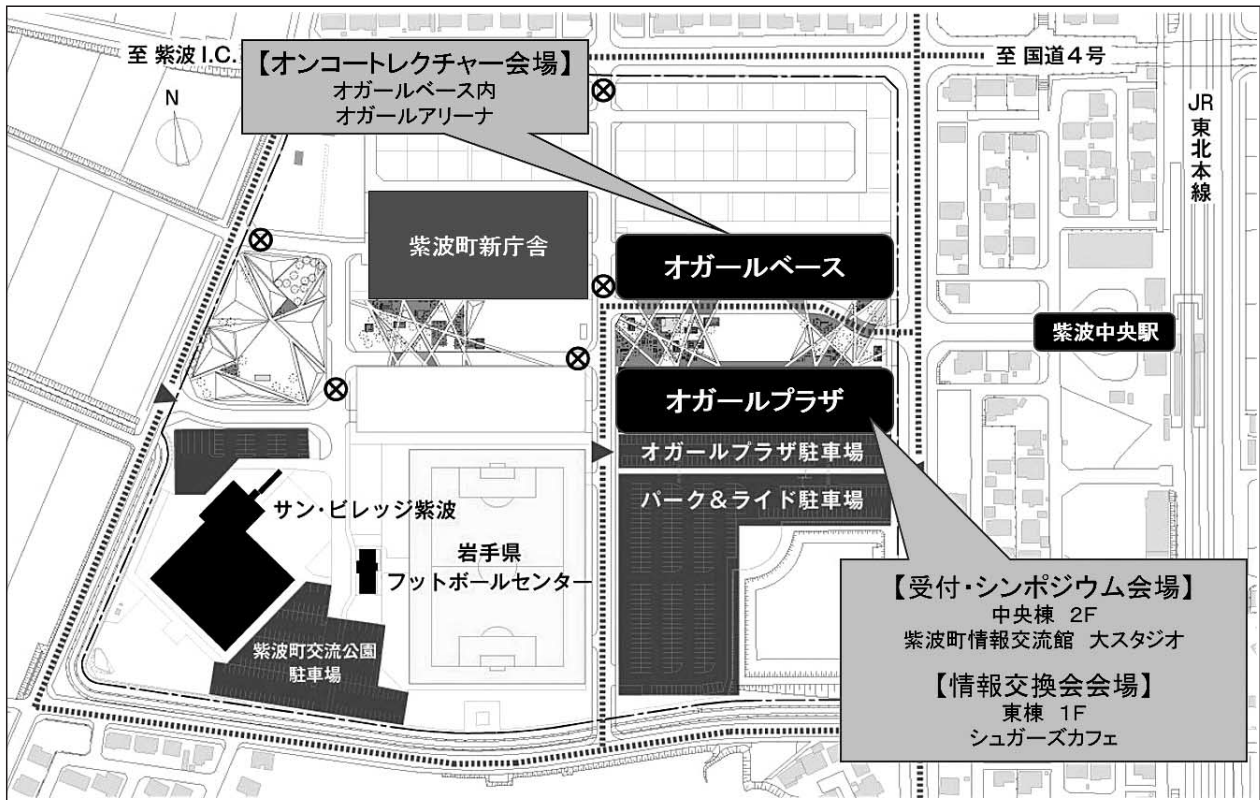
名誉研究集会会長：小笠原義文 (岩手県バレーボール協会会長、岩手大学名誉教授)

#### ○実行委員会

実行委員長：高野 淳司 (一関工業高等専門学校)  
 実行副委員長：黒川 貞生 (明治学院大学) 吉田 清司 (専修大学)  
 実行委員：千葉 智行 (盛岡大学) 小川 宏 (福島大学)  
           石丸 出穂 (仙台大学) 三村 泰成 (鶴岡工業高等専門学校)  
           松尾 忠利 (福島工業高等専門学校) 三上 浩永 (岩手県立住田高等学校)



## 【会場案内図】



### <紫波町情報交流館およびオガールベースへのアクセス>

- ・電車（新幹線）でお越しの方

J R 盛岡駅から東北本線上りで紫波中央駅下車 乗車時間約20分

紫波中央駅から徒歩2分

- ・飛行機でお越しの方

いわて花巻空港から車で約20分

J R 花巻空港駅から東北本線下りで紫波中央駅下車 乗車時間12分

## 【 日 程 】

### 2015バレーボールミーティング日程

- 9:30～10:00 受 付 (オガールプラザ 中央棟 2 F、紫波町情報交流館 大スタジオ前)
- 10:00～10:10 開 会 (紫波町情報交流館 大スタジオ)  
挨 拶 : 河合 学 (日本バレーボール学会会長)  
小笠原義文 (岩手県バレーボール協会会長)
- 10:10～11:00 講 演① (紫波町情報交流館 大スタジオ)  
「アウルズ紫波スポーツアカデミーの役割と可能性」  
講師 : 綱嶋 久子 氏 (NPOアウルズ紫波スポーツアカデミー)
- 11:05～11:55 講 演② (紫波町情報交流館 大スタジオ)  
「地域創生とスポーツ」  
講師 : 岡崎 正信 氏 (オガールベース株式会社代表取締役)
- 12:00～12:30 シンポジウム (紫波町情報交流館 大スタジオ)  
「地域から日本のバレーボールを変える～オガールベースの挑戦～」  
進 行 : 吉田 清司 (専修大学)  
シンポジスト : 岡崎 正信 氏 (オガールベース株式会社代表取締役)  
綱嶋 久子 氏 (NPOアウルズ紫波スポーツアカデミー)
- 12:30～13:30 休 憩
- 13:30～15:20 オンコートレクチャー (オガールベース内、オガールアリーナ)  
「リーダーの育成を目的としたジュニア指導」  
進行 : 小川 宏 (福島大学)  
講師 : 綱嶋 久子 氏 (NPOアウルズ紫波スポーツアカデミー)  
解説 : 岡崎 正信 氏 (オガールベース株式会社代表取締役)
- 15:20～15:30 閉 会 (オガールベース内、オガールアリーナ)  
挨拶 : 黒川 貞生 (日本バレーボール学会副会長)
- 16:30～18:30 情報交換会 (オガールプラザ東棟 1 F シュガーズカフェ紫波店)

## 【 講師紹介 】

### 講師 岡崎 正信 (おかざき まさのぶ) 氏



1972年 岩手県生まれ。

岡崎建設株式会社専務取締役、他にオガールプラザ株式会社代表取締役、オガールベース株式会社代表取締役

1995年に地域振興整備公団(現都市再生機構)に入団し、2002年に退団するまでの間、東京本部、建設省都市局都市政策課、北海道支部などで地域再生業務に従事。

現在は家業と共に、岩手県紫波町が推進するオガールプロジェクトの推進を担っている。

内閣官房地域活性化伝道師。

中学2年から本格的にバレーボールを始め中学3年には全国都道府県対抗中学バレーボール大会に岩手県選抜として出場。岩手県立盛岡南高等学校に進学しバレーボールを続けた。

日本体育協会公認バレーボールコーチ。

### 講師 綱嶋 久子 (つなしま ひさこ) 氏



所属：NPO法人アウルズ紫波スポーツアカデミー

広島県出身、就実高校→石川島播磨重工呉→ユニチカ→東レ  
中学1年生よりバレーボールを始め、就実高校ではインターハイ、国体優勝。東レアローズでは、5年間キャプテンを務め07/08Vプレミアリーグでは東レとして初優勝に貢献。同年度にはその他国体、天皇杯皇后杯全日本選手権でも優勝。

2000年、2002年には日本代表として世界選手権などにも出場。

2001年第7回Vリーグではサーブ賞を受賞。

現在は岩手県へ拠点を移しNPO法人アウルズ紫波スポーツアカデミーでヘッドコーチを務めている。

## 【 講演 ① 】

### 『アウルズ紫波スポーツアカデミーの役割と可能性』

#### 講 師

NPO法人アウルズ紫波スポーツアカデミー

綱 嶋 久 子 氏

#### 1. 自己紹介

所属チーム履歴

就実高等学校→石川島播磨重工業→ユニチカ→東レ・アローズ

全日本代表 — 2000年、2002年

●全日本代表としての主な国際大会出場歴

世界選手権・アジア大会 — 2002年

●受賞歴

2001年 — 第7回Vリーグ サーブ賞

広島県に生まれ、宮島町で中学生までの期間を過ごしました。

バレーボールを始めたのは中学1年生できっかけは「仲の良かった友達がバレー部に入部したから」でした。1年生の頃はボール拾いが苦痛で仕方なく何度も怒られていました。そんな私が衝撃を受けたのは日本代表の男子の試合をテレビで見た時でした。当時若手エースだった中垣内選手に、目も心も一瞬にして奪われました。そしてその瞬間から私のバレーボール人生が始まりました。色々な本を読んだり、試合を見に行ったり、見よう見まねで練習したり……。そのモチベーションは「中垣内選手に会う!!」だけでした。中学3年生の時の将来の夢は「バレーボール選手」。県大会にも行ったことがなかった私の無謀とも言える夢でしたが「無理かも」という感情は私の中にはゼロでした。中学3年生では172cmあった私はJOCの選考会に170cm以上枠で参加させてもらいましたがバレーボールで島から出たことがなかった私はウォーミングアップで吐くという本物の井の中の蛙だった事に気づかされた合宿でした。そんな中、ジャンプ力だけ周りより少しだけ上回っていたようで、その数値だけを見て岡山県の就実高校からスカウトを受けました。県大会にも出たことがなかった私は岡山県の高校へも難なく進学することができました。

そして、高校生で初めて基礎、基本のバレーボールの指導を受けました。そこでは、バレーボール以上に「感謝」する事を叩き込まれました。どんな小さなことにも感謝する。感謝の気持ちを自分のやるべき事で恩返しする。という事を練習の倍以上の時間を費やしたミーティングで教えられ、中学で県大会にも出場したことがなかった私が全国優勝を経験してしまいました。私のバレーボール人生の始まりと、その後のバレー人生の基盤となった時期でした。その後実業団で12年間バレーボールを続けさせていただきましたが高校3年間の経験が自分の中での大きな芯になっていきました。

## 2. 現代の子供たち

色々な状況が今の子供たちを作っていると思いますが、洋式の生活、ゲーム、外遊びができる場所の減少などによりできなくなっている事が多々あると感じます。まずは正しく立つこと、次にしゃがむこと、その先にジャンプやバレーボールの複雑な動きがあります。

バレーボールの技術を乗せる土台（体）づくりを無視すると、どこかのカテゴリーで限界が来たり、最悪の場合大きな怪我につながり思うようなバレーボール人生を送れない可能性が高くなってしまいます。それだけでなく、日々成長し続けるのが子供たちの体です。体が大きくなるとは選手としては嬉しいことですが、その時々自分の体を思うように動かすことは簡単なことではありません。その点を理解して根気強く子供達と向き合うことも大切な事だと考えます。

## 3. アカデミーの役割

- ・自分の体を思うように動かせる体づくり

日体協でも提唱している姿勢教育、発育発達に沿って専門のトレーナーから指導してもらい一貫して指導。

- ・将来どの分野に進んでもリーダーとなり得る人材の育成

リーダーの定義とは様々なものがあると思いますが、その根底に「感謝する心」をしっかりと持った人材の育成をする事が重要だと考えます。

- ・コミュニケーション能力

コミュニケーションの始まりは挨拶です。気持ちのいい挨拶ができる事。「はい」「いいえ」だけでなく、自分の言葉で考えを語れる能力。人が気持ちよく話せるような聞く姿勢。などのちからを高めるためのサポートをします。



## 【講演②】

### 『地域創生とスポーツ』

#### 講師

内閣官房地域活性化伝道師  
オガールベース株式会社代表取締役

#### 岡崎 正信氏

#### ① 局面が変わった～人口減少化におけるまちづくり～

我が国における社会システムのほとんどは「人口が勝手に増える時代」につくられたものです。しかしながら、我が国の人口は2004年をピークに一気に下降曲線に入りました。メディアでは輸出企業の収益が下落することが日本の危機のように言われていますが、我が国の経済は完全に内需で成り立っています。つまり、人口が減ると言うことは内需に頼っている我々の生活が大きく変わることの意味しています。税収の減収、急激な高齢化は我が国の体力を奪い、早々社会システムを人口減少社会に対応させなければ子どもたちの未来は暗いものになってしまいます。そのような厳しい環境下におけるまちづくりはどうあるべきかを論じます。

#### ② 普遍的集客としてのスポーツコンテンツ

内需型国家が人口減少社会に陥った場合、消費の拡大は望めません。つまり、町の中心を担っていた商業活動をベースにしたまちづくりは機能しなくなってきています。郊外型のショッピングモールの隆盛によって町の中心部は廃れたと言われますが、マクロで消費量全体がシュリンクしている事実を直視する必要があります。つまり、商業に頼らない町をどのように作っていくのが地域の知恵の出どころです。その解決策は商業に頼らない、消費に頼らない集客を実現するかです。これを「普遍的集客」と呼んでいます。その一つのコンテンツがスポーツだと思います。人口減少社会では人はより一層自分の健康、レジャーに対する意識が高くなり、スポーツは心身を健全に保つ大きなコンテンツとして今まで以上に認識されることでしょう。

#### ③ ピンホールマーケティング

マーケットが大きい分野とマーケットが小さい分野の2つがあった場合、一般的にはどちらのマーケットでビジネスを行っていきますか？日本初のバレーボール専用体育館を民間資金で作ったノウハウを、野球という巨大なマーケットとバレーボールという小さなマーケットを比較しながらスポーツビジネスへのアプローチを考えます。地域だからこそ針の穴のような小さなマーケットに絞ったビジネス構築を考えます。

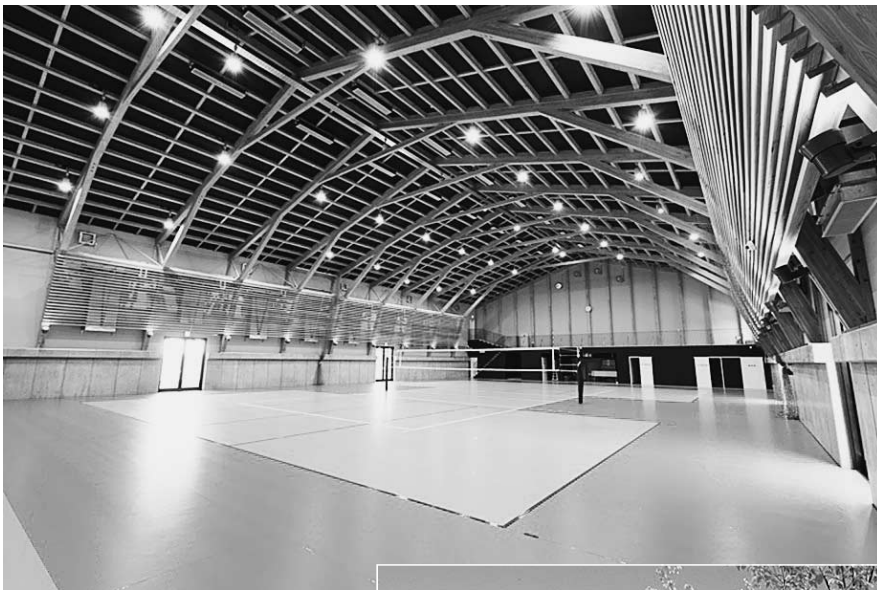
#### ④ 民間が担うスポーツを通じた教育

「どうせ無理」という言葉を使っていませんか？自信を奪う言葉は地域の未来も奪います。オガールベースを拠点に活動しているバレーボールアカデミーでは、誰もやったことがないことを、やりたがる人、あきらめない人、工夫する人、教えられる人を念頭にバレーボールと向き合っています。

#### ⑤ 営業が全ての基本

バレーボール競技人口の減少が止まりません。その一方でサッカーの競技人口は増えています。なぜでしょうか。情緒的にこの現象をとらまえては何の解決策も浮かびません。ロジカルに考え行動することが求められています。そして、その行動は営業です。営業しないで顧客を得ることは不可能。バレーボールの強化と普及は一蓮托生です。そしてそこにはバレーボール界の構造的な改革と営業努力が絶対的に必要です。

人口が減る中、バレーボールの競技人口を増やすことはたやすいことではありません。まちづくりもそうです。デフレ経済が続く中で如何にロジカルに考えることが重要なことなのかをご理解いただければと思っています。



## 【 シンポジウム 】

### テーマ『地域から日本のバレーボールを変える ～オガールベースの挑戦～』

#### 講 師

内閣官房地域活性化伝道師  
オガールベース株式会社代表取締役

岡 崎 正 信 氏

#### 講 師

NPO法人アウルズ紫波スポーツアカデミー

綱 嶋 久 子 氏

#### 司 会

専修大学

吉 田 清 司 氏





## 【 オンコートレクチャー 】

### 『リーダーの育成を目的としたジュニア指導』

#### 講 師

NPO法人アウルズ紫波スポーツアカデミー

綱 嶋 久 子 氏

#### 解 説

内閣官房地域活性化伝道師

オガールベース株式会社代表取締役

岡 崎 正 信 氏

#### 進 行

福島大学

小 川 宏 氏

#### 実 演

OWLS紫波バレーボールアカデミーの皆さん

問いかけで「考える力」を。

#### 1. 練習に入る前、フレームがけで自分もがんばり、周りのがんばりにも敏感に。

子供たちは競走が大好きです。「今日のテーマは、一番声を出した人！」と言うと人一倍声を出そうとするのですが、それと同時に誰がよく声を出しているかという事もみるようになります。チームメイトに興味関心を持つことはチームワークを作る上で絶対条件だと考えます。

練習の最後に自分以外の頑張っていた人を指差しする時間を設けます。そこで一番だった人には全員で大きな拍手を送ります。(たまにはご褒美にお菓子などをあげたりもします。)

#### 2. ウォーミングアップで赤ちゃんからの動きの復習を

小学生でも既に猫背など姿勢の崩れている事が多く見られます。その上バレーボールという偏った動きだけを行っている運動をしているはずなのに……という事になっていきかねません。そこで、アカデミーではトレーナーの指導のもと赤ちゃんが二足歩行を可能にするまでの動きをウォーミングアップで取り入れています。成長期で急激に身長が伸びている時にもその都度自分の体に慣れ、正しく立つ為に必要な筋を刺激します。ウォーミングアップの中でも色々な指示を出し、言葉で説明したことを理解し、イメージする力を養います。(試合中の指示を聞き、理解し、動ける力につなげます)

### 3. 練習では、出来ることを本気で楽しめる取り組む環境をつくります

大人もそうですが、正しいとわかっていても続かない事が多々あります。人の脳は楽しいことしか続かないようにできているそうです。子供のうちに本気を出す楽しさを体験させることが重要だと考えます。

### 4. 練習中、様々な場面で子供たちにコーチから問いかけをします

例えば、これからスパイク練習をするとします。その時の注意点を教えて下さい！と言うと普段注意していることを次々に教えてくれます。子供達が受身にならないよう、「もっといい練習にするためには？」「ゲームをします。作戦タイム1分！」など縦横のつながりを自然に作れるようコーチは最低限の口出ししかしません。失敗するチャンスを奪うことは、感じて動くチャンスも奪っていると考えます。

### 5. 最後に自分たちの練習の評価をします

最初にフレームがけをしたテーマについて一番頑張っていた人を指差しします（自分以外）。

### 6. 挨拶

最初と最後の挨拶では0.2秒以内の反応を作ります。

人の脳では約0.4秒で感情が作られるそうです。「え〜」「嫌だ〜」などのマイナス感情が生まれるのを待たずにプラスの行動で前向きな思考を作ります。子供たちの競争好きを刺激してより早く、より大きな声で行います。



## 【 MEMO 】

## 【 広告協賛企業・団体一覧 】

- ◇ 井上スポーツ
- ◇ F C東京バレーボールチーム
- ◇ 岡崎建設株式会社
- ◇ 株式会社クレーマージャパン
- ◇ C R A 合同会社
- ◇ 竹井機器工業株式会社

(五十音順)

～ご協賛まことにありがとうございました～



「しなやかさ」と  
「強靭さ」を併せ持つ  
究極の万能テーピング  
「デニバン」「デニバンライト」

今現場で最も支持されている  
アスレティックテープ「デニバン」は、  
「しなやかさ」と「強靭さ」を特徴にした  
全く新しいコンセプトのテープです。  
使用用途に制限されないその多能性は、  
NFLから小学生まで多くの方々の  
ニーズに応えています。

**デニバン**  
Denim Bandage

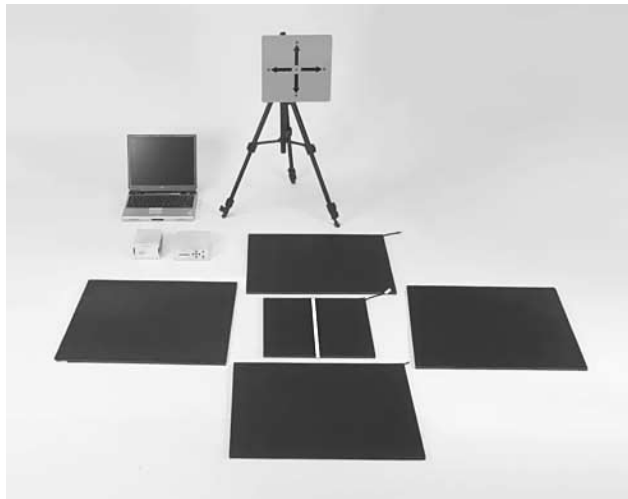
**デニバンライト**  
Denim Bandage - Light



# 測定機器メーカーのTAKEIです

パフォーマンスや体力の測定でお困りのことはございませんか？

例えば、**リアクションMR** はランダムに点灯する矢印の方向に正確に移動する時間を測ります。



仕 様	
測定時間	0.001~9.999秒
試行回数	最大100回
刺 激	赤色丸型LED (4方向)
予備刺激	緑色丸型LED (中央)
刺激呈示時間	瞬間/連続
対応OS	Windows Vista/7 (32bit)
電源・電力	ACアダプタ100-240V/2W
寸 法	中継BOX : 約149 (W) × 170 (D) × 54 (H) mm マットSWBOX : 約110 (W) × 140 (D) × 76 (H) mm 刺激板 : 約350 × 350mm マットスイッチ : 中央400 × 400mm その他500 × 600mm
質 量	中継BOX : 約0.5kg マットSWBOX : 0.3kg 刺激板 : 1.6kg マットスイッチ : 1.9kg、3.7kg

※その他特注製品についても対応いたします。お気軽にご相談下さい。

人間の可能性を科学する  
**TAKEI 竹井機器工業株式会社**

仙台支店/〒984-0051 仙台市若林区新寺1-7-21(新寺KSビル7F) TEL. 022(291)2765 FAX. 022(291)6364

ALL SPORTS GOODS

いのすぽ  
I.S.C 井上スポーツ

岩手県奥州市江刺区西大通り10-13

TEL 0197-35-2000

TEL 0197-35-2952

FAX 0197-35-5618

# 岡崎建設株式会社は、 岡崎建設Owlsのメインスポンサーです。



2014年全国クラブカップ優勝

地域の生活環境づくりに 夢を馳せる技術者集団

特定建設業

土木・舗装・建築・造園



# 岡崎建設

株式  
会社

代表取締役 岡崎 俊子

〒028-3307 紫波郡紫波町桜町二丁目5番地10

TEL:019(676)5660(代)

FAX:019(676)5611

<http://www.okazaki-const.jp>

[mail:soumu@okazaki-const.jp](mailto:soumu@okazaki-const.jp)

# OGAL INN オガールイン



# OGAL BASE

お一人様 1泊朝食付き

2,980円から(税込)

ほかにも様々なプランをご用意しています。  
詳しくはホームページでご確認ください。

## ビジネスユース(朝食サービス付)料金表(消費税込)

利用タイプ	料金/部屋	お一人様料金
シングル	4,980円	4,980円
ツイン	7,960円	3,980円
トリプル	8,940円	2,980円
プレミアムルーム	20,000円	6,666円

アメニティ類は別料金となります。  
タオルセット200円、部屋着300円、歯ブラシ・剃刀各50円

## 宿泊特化型ビジネスホテル

「快適な睡眠」と「充実した朝食」をコンセプトに快適な時間を提供いたします。

大浴場も完備、ボリューム満点の無料朝食付きです。

## ゲストハウス/ドミトリー(合宿研修用ルーム)を用意

スポーツ合宿、各種企業研修などに対応いたします。

大浴場で身体を癒やし、ボリューム満点の無料朝食で力を蓄えてください。

## 合宿/研修コース(朝食サービス付)料金表(消費税込)

利用タイプ	料金/人	備考
ゲストハウス利用	2,800円	他の御客様と同室
合宿研修利用	2,800円	グループ利用

風呂(シャワー)、トイレは共同となります。  
アメニティの備え付けはございませんのでご持参願います。  
必要なお客様はフロントにて販売及びレンタル(有料)いたします。  
シーツの取り替えは3日に一度となります。  
夕食(弁当)は、1人あたり700円でご用意できます。

※平日、休前日共に同料金となります。(宿泊料金については改定の可能性があります。)

※駐車場は専用駐車場20台。満車の場合は徒歩1分の町営パーク&ライド駐車場を御利用ください。駐車料金はキャッシュバックいたします。

# OGAL ARENA オガールアリーナ

## アリーナ利用料金表(消費税8%込、照明料金込)

利用タイプ	料金	冷暖房料金
半面利用	1,300円/時間	2,700円/時間
全面利用	2,160円/時間	2,700円/時間
一日半面利用 8:00~17:00	8,640円/日	21,600円/日
一日全面利用 8:00~17:00	16,200円/日	21,600円/日

※利用料金については改定の可能性があります

ハレーボール専用体育館。

フランスGerflor社製のタラフレックスを床材に用い、最高のプレーを引き出します。



www.ogal-base.com

## ロケーション

お車でお越しの方

盛岡方面から 国道4号線を南下し、紫波中央駅入口交差点を右折

花北方面から 国道4号線を北上し、紫波中央駅入口を交差点左折

東北自動車道 紫波I.C.出口を左折し車で約5分

電車(新幹線)でお越しの方

JR盛岡駅から東北本線上下りでJR紫波中央駅下車(乗車時間約17分)

JR紫波中央駅から徒歩2分

飛行機でお越しの方

いわて花巻空港から車で約20分

JR花巻空港駅から東北本線下りで紫波中央駅下車(乗車時間12分)

岩手県紫波町

JR 紫波中央駅前



オガールベース株式会社

ホテル&アリーナ

〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-12

電話 019-681-1256

メール info@ogal-base.com